いわき民報

發行所
いわき民報社
平市田町一番地（電話三八一番）
編輯兼發行人 印刷人 千葉克己
日刊 但月曜日を除く
定價 一ヶ月五円 一部二十錢

失業對策に無料宿泊所

簡易食堂等も併設の計劃

建設地は隣保館接續地か

平市では失業對策を兼ねて社會施設の完備を期するため、豫算十二萬圓を以て今度懸案の無料宿泊所並に簡易食堂を建設する事に決定、早急實現すべく目下諸準備を急いでゐる、右は平市に流れ込む失業者を救濟のため一定の職と宿所の定まるまで收容する一面、戰災者、引揚者、在外者留守家族の者等の宿舍にも充てやらとのもので、簡易食堂はこの宿泊所と併設宿泊者の利用に委せるが、將來は朝早く稼ぎに出掛ける一般カード階級にも開放する計劃とある、尙敷地その他は未定だが大体現授產所と隣保館の隣接地を選定することに內定してゐる、設計等は目下急いでゐるが今秋十月頃までには遲くも完工開始したい見込みである

實現まで旅館を利用

給食券も出す組合と契約成立

市では無料宿泊所及び簡易食堂の建設が、資材問題その他から急場の間に合ないので、これが對策を考慮中だつたが、暫定措置として實現を見るまで、市內旅館と契約空室の提出を求めて解決することとし、旅館業組合と交涉、二人泊り六疊一室を一晩四圓で契約、向ふ六ヶ月間十五室をいつでも市側から宿泊者を差向けた場合は泊め得ることゝなり、その代り組合側に對し一萬八百圓の保證金を交附した、今後失業者始め戰災者等で平市に來たが、宿舍に惱む者に對しては、市から宿泊券を與へ、市內どこの旅館へでも泊め得ることになつた、尙この宿泊料金は本人が所持せぬ場合は市側が一切負擔、又食糧の準備のない者には同じく市から給食券をも出して給與するが一食一圓七十錢の契約となつてゐる

大道與變

平　中青二

▽『武力なき日本の今後の教育は、世界各國人から愛好される文化人を養成するにある』と、或る教育家出の代議士が語つたと新聞は報道してゐる。

▽今度の敗戰前のやうに、全世界から毛嫌ひされたり、叩きのめされたりするやうでは話にならぬ。みんなから愛好される民族になることは贊成だ。

▽併し『愛好されること』のみを理想にして進んで行つたら、賣笑婦的な民族に墮落する心配はないか。

▽勿論、尻を振つて主人の機嫌をとる犬にも各々個性があり、そのもの獨自の使命を果してゐるとも考へられるが、吾々は可愛がられる犬や猫とは異る存在であり度い。玩具として生きることは、心なきものには容易であらうが、眞實一路を求めてやまぬ文化人には堪へられぬ苦惱が伴ふ。

▽文化とは眞善美を追求することだ。この價値判定の標準は時代に於て變遷するであらうことは認めるが、その文化價値の深奥には崇嚴にして、人を敬服せしめる何物かがなくてはならぬ。

▽『可愛いがられて寢た夜もござる』。これは有難いと尊重されて拜まれた日もござる』でなくては『日本よどこへ行く』と言ひたい。

▽人權の尊重が頻りに叫ばれてゐる。普遍の世界を求めつゝ、民族の個性を先づ自ら尊重して雛形の平和的文化國家を創造しようではないか。

高級 檜建具販賣
板戸、障子、其の他
六入、高戸 お需めに應ず
平市三丁目
平土地住宅有限會社
電二〇二・三〇八

江名底曳の漁獲高調べ

江名町漁業會の六月二十一日より三十日迄の底曳漁獲高は二十六隻の出漁に對し水揚量壹百九十二萬六千七百三十五貫、サメナ、カニ量八十五万貫

少年工慘死

橫濱市保土ヶ谷二俣川町一七〇三明治工業株式會社鶴見工場工員遠藤幸政（一八）は八日午后四時二十分頃小名濱町字高山一八〇保土ヶ谷工業株式會社小名濱工場で製鹽場配管用鐵管の熔接作業中カーバイトの自然發火に依る爆發で即死した

磐城高女生の引揚援護標語

引揚者援護週間中の行事として磐城高等女學校では全生徒から標語を募集十一日職員審査を行つた結果左記十一首が入賞、校友會より夫々賞品（鉛筆）を授與された

やさしい言葉も援護の一つ（高澤洋子）よく來た同胞愛せよ共に（菱沼成子）送つた氣持で迎へませう（大竹美智子）引揚の身となれ氣となれ（玉手利枝）身一つの友だかゝへよ愛の手で（三井綾子）やさしい言葉でやさしく護れ（中山美代子）引揚げて來た身になつて助け合へ（宮川悠子）是からだ泣くも笑ふも共々に（阿部錦）同じ巢で孵つた雛だ同胞だ（佐藤久枝）歸れ同胞我等の胸に（佐藤千惠子）我等の同胞我等で救へ（石田昌子）

繭の增產を目指し蠶業振興會を結成

會長には細野武男氏

蠶絲業のもつ使命は終戰後一躍重大性を加へ、これが增產は即食糧の增產とあつて縣でも五ヶ年計劃で大增產を目指し、先づ本年は反當九貫の收繭を目標に進むことになつたので、郡地方事務所でも農業會、各業者と協力、增產に拍車をかけてゐるが春蠶は種紙の不良等から目標に達せずに終つたのに鑑み、この不足を夏秋蠶に於いて補ふべく萬全の策を講じやうと今度農業會支部蠶絲係の細野武男氏を會長に〃蠶業振興の會〃を結成、活潑な活動を開始することに決定、既に大体の規約その他の下準備も出來たので、十三日の夏秋蠶掃立打合せ會の席上、一切を正式に決めて即時運營を開始することになつた、事業としては夏秋蠶から從來の共同催靑飼育を一歩進めて、三眠迄の雅蠶兒委託飼育配給を實施することになつたのでこれが實施上の一切並に飼育經費の支出は一貫匁に對し八圓宛徵收するがそれ以上の不足分はすべて同會で負擔する外、飼育擔任技術員の派遣及び雅蠶兒の運搬等はすべて製絲工場側に一任する諸方策等々增產上必要とある諸事業を行はんとする計劃であり、これが結成並に活動は蠶絲業の發展を期する上から見逃し得ぬものとして大きな期待をかけられてゐる

內鄉健保存續運動

十日の善后策理事會で決定

內鄉町の健保組合問題は六月常會で部落會長側から解散の提案をみ遂に六月限り事業停止の決議をさるゝに至つたので、組合長根本町長も成行を憂慮、八方奔走の結果十日善後策講究の理事會を開いて研究討議の末結局

一、組合專屬醫を雇つて町民の要望に應ずる
一、全町民を一戶も漏れなく强制加入せしめ組合費の節減をはかる

以上の二項の實現を期して何とか存續せしめることゝし先づ組合幹部總動員で各部落會長の說得了解を求めることに決したが果して部落會長側が應ずるか否か頗る成行を注視されてゐる

兒童のイモの害虫驅除成績

馬鈴薯や茄子をあらす僞こんたう虫の驅除は各町村毎に國民學校生徒の勤勞奉仕で行はれたが小川、大野、入遠野、勿來、三阪、澤渡、田人に於ける四月末から六月二十三日迄の成績は出動人員九千四百八十四名で八十五万三千六百八十五匹の收獲とある

小名濱町の供出に期待

小名濱町の本年度の麥類供出割當は大麥二千俵、小麥千五百俵、馬鈴薯二千俵と決定されたので同町では農業會と協力去る八日全農家に通達したが、町と農業會の熱意に農民側も感激早くも供出準備を始めるなど大童で、同町の今後供出成績は期待されてゐる

無料血液檢査

十五日平驛前で

平市では保健所、平驛の應援を求め傳染病花柳病豫防强調週間の一助として十五日午前十時から三時迄平驛前で無料血液檢査を實行する

市葬は今後は從前通り市で

平市では終戰後公葬は各區內會單位で自宅で行はせてゐたが、今後市に於いて緒戰當時の如くに執行するに決定、十三日公會堂日本間で打合會を開いた

內鄉町の援護

資金募集興行

內鄉町役場、內鄉町引揚者聯盟主催の援護資金募集並に感謝興行は十四日正午から晝夜二回淺野會館で平市花柳一門十數名の贊助出演とヒバリ輕音樂團一行出演で行はれる

小名濱隔離舍閉鎖

入舍患者一名もない好成績

最近夏季に向ひ傳染病の發生が非常に多く、縣も憂慮去る一日から衞生週間を實施、豫防思想の普及に大童の折柄、小名濱町ではこれは又何と隔離舍に入舍中の腸チブス十二名、發しんチブス二名、天然痘三名も全く快癒し現在一名の入舍患者もなくなつたので、十日を以つて病舍の閉鎖を行つた

引揚者援護藝能大會

十五六兩日平館で

引揚者援護週間の行事の一つとして市では同胞援護會支部及縣と協力十五、六の兩日午後一時と六時の晝夜二回に亙り、平館で藝能會を開催するが、出演者は流行歌手楠木繁夫、大野三光コミック漫藝、松竹大船の突貫小僧等で會員券は十圓、尙賣上の純益は一切市內居住の引揚者の救濟資金として利用されてゆくとある

神谷の公葬

神谷村大字上神谷故陸軍兵長西山政司君の村葬は十二日午後二時自宅で執行された

いわき言

▽失業救濟に市で無料宿泊所及び簡易食堂の設置を計劃、實現迄旅館組合とも契約して應急措置をとることに決定した、最も機宜に的した事業として期待される、一日も早い實現を望む

▽內鄉町の健保問題、專屬醫師を置き、全町民の强制加入で何とか存續せしめたいと組合側では大童、組合としては尤もながら平市の實例等をみて最少し研究する余地がありはすまいか、一時の注射は永續せぬものと知れ

▽繭の增產に蠶業振興會結成さる官製もの一ゝ般に脫して計劃倒れとならぬやう、飽迄蠶業のためのものとして活躍を乞ふ

◇營業案內◇
ペンキ（各種）
一般油脂類
陶磁器窯業品
電氣瓦斯器具
農機具自動車類
平市南町四十一番地
古川興業有限會社
御希望の向には御一報次第係員參上致します

書畫骨董　古美術
貴金屬　寶石
時計　衣類其の他
高價買入れ
平市南町平館西隣
中央會館

就業調査の統計に見る
今の世相の僞らざる實態

五百万と推定される失業人員に對處して、政府は百五十五萬町歩の開發事業や河川工事の四ケ年計畫に、來るべき失業問題に早くも腐心してゐるが、此の尨大なる數字の割には案外深刻な様相を我々の面前に呈しては居ない、統計的に見た失業人口の動向はと見れば今迄屢々云はれてる所の綜合的結果は、彼等の可なりの部分は、このインフレ下、少量の物資を商ひ乍ら闇から闇へと浮動してゐると云ふのが現狀だ、そして二度目に採られた金融非常措置に依つて顯在的失業人口に轉化するだらうと豫想された數字も結局は國民の信頼の裏付けがない爲に定職を求める方向にも強く動かず依然として浮動狀態の繼續を示してゐる、敗戰後の弛緩した國民の頭腦には本質的には軌を異にするが昭和五、六年の『大學を出たけれど』の悲しい記憶を忘れられたのであらうか、外地歸へりの引揚者や復員者の一部の非痛な叫びと五月の就業調査の統計に示された郡內六千の失業者の動きを勤勞署の窓口に探つて見る

閑散極まる勤勞署
働く意欲も低下の兆顯著

五月末の失業調査の統計に出た失業者數は五千九百九十三名（男四千六百九十二名、女一千三百一名）であるが一ケ月半を過ぎた今日此の頃の勤勞署の窓口は依然として閑古鳥が鳴く有様で六、七月の求人數三百八十六名に對して百五十名に滿たず最近の續々歸國する引揚者、復員者數から計算して失業者實數は五月の統計數字より遙かに上廻つてゐると見られてゐる、即ち一面には金がなくなり欠食、營養失調、強盜、野荒し等が增えて來るのに、一面には僅か五百圓で徒食してゐる者が減らない矛盾した様相を呈して來てゐる最近（六、七月）の求人者の種類は依然として產業復興の原動たる機械工業關係が第一次が建築關係の大工、家具工、雜夫等で事務員等は全然ない又求職者數は求人數の一割五分程度で勤く意欲の低下と浮動人口の實相とを示してゐる

これは珍しい 女中志望
求人該當更になし

七月に於ける求職者の種類別を拾つて見ると▼事務員男一三、女三▼機械技術者男三▼タイピスト女二▼礦山技術者男二▼運轉手男四▼女中女四▼工員男八、女四▼通譯女一で求人者に該當する者は一人も居ない始末で只誤られた自由主義のふりまはされる今の時代に珍らしいと見られる女中志望があるが之も家庭の事情に依る者が大部分で普通家庭の女中さんでなく飲食店、料理店を望んでゐるのもやはり時代の反映と云へやう

求人は全部筋肉勞働者

次に求人者の種類別を細別すると板金工三、製罐工三、仝見習一〇、農鍛冶一、鐵冶工一〇部分品保女一、店員一、雜夫二八、鑄物工五、溶接工五、家具工一六、大工五、土工一〇〇、外務員男一〇、自轉車見習二、少年工（鐵工）一〇、火夫男五女二、製材工八、ネヂ切工女五、打切工六、玩具工二、研磨工一、ミーリング工一、仕上工五、旋盤工六、硝子見習工女一〇、車掌女六給仕女二

小口信用貸金
湯本町東町二三七、青柳

平教組代表

十六日の縣單一教員組合結成大會に出席する平市教員組合代表は十日の委員會で新妻熊男、三森勞重の兩氏と決定した

草野農業會
圓滿解決
辭表は全部撤回

草野村農業會では去月末感情の問題から會長を始め理事等が僅かに坂本惣次郎理事を殘すのみ辭表を提出、成行を憂慮されてゐたが、坂本氏並に村有志の奔走斡旋により一切を水に流し近く改めて總會を召集、會長並に專務理事等の選任を行ふとし十一日夜全部辭表を撤回し一ケ月振りで漸く圓滿解決した、尚現在までは村長が會長を兼ねてゐたものである

書籍 高價に戴きます
平市五丁目
片寄書店

開放
投書を歡迎す
要望批判結構
紙上匿名可

四倉町へ

▼…四倉町に歸復既に一年、此間の關心事二三を述べさせていたゞきます。第一に水道、茲の處雨が降らないので六月二十三日から斷水だ、最近は雨多く漸く解消したが、此位な旱天で水道が止まるやうでは之から先暑中になつて雨がなければ又斷水だ、戰後は傳染病が多いから特に飲食物に注意すべき時に水道が止り今迄使はぬ井戸や不潔の井水を使用して万一傳染病に罹る者が出來之が蔓延したら大變だ

▼…そこで貯水量と使用量とをにらみ合せ時間制にして朝夕一定時丈給水じ細く長く出していたゞきたい、夫れと同時に町民も當局に協力して節水を嚴守していたゞきたい、尚當局は水源地の涵養と共に一日も早く貯水池の擴張が肝腎であると思ふ

▼…第二に隔離病舍、一朝不幸にして傳染病に罹つたら今の處町經營の隔離舍行だが其病舍たるや至つて舊式で設備も不完全ださうだ、そんな處に收容されては助かる者も死んで仕舞ふであらう、前の町長新妻さんは先達入舍せられたがどんなお感じがあつたでせうか。とにかく不安である町、會議員さんの內の衛生擔任の一考を煩したい

▼…第三に火葬場、町營なり私設なり何れにしても當町に火葬場が欲しい、衛生上からは勿論だが國土が狹くなつた今日增產の見地からでも廣い墓地は考へものだ、夫れに他地方の人は遺骨を希望する向も多いでせうし傳染病死亡者の火葬に平市迄行くのは大變だ、いつ迄も倉カケ山の野火葬でもむるまい、町營や近接村の組合火葬場設置が困難なら私設でもよい、將來土葬禁止にでもなつたら有望の事業であらう（花澤乙丸）

生活と文化

さけび
高野みち

私はこらへきれなくなつて席を立ちました、然し何んと云ふ運命のいたずらなのでせう神樣も佛樣も私を見捨ててしまつたのではないかと思ふとうらめしくさへ思はれました敗戰によつて身も心も打ちのめされた形の私にとつて唯一の光明はビルマに征つたあの方の復員だつたのです。想へば戰ひ最中だつた十九年の末に勇ましく出發したあの方でしたのに……。それが、それが、終戰後一年も經つた今になつて終戰直前の八月二日にビルマに若き二十五の生命の終りを告げたとは――。何んと云ふ悲痛なる現實なのでせう。二度とあの方のお姿を見る事は出來なくなつてしまつたのです。元より弱かつたあの方でしたから人一倍苦勞をされた事でせう風土病になつても充分な手當さへ受ける事が出來ず野戰病院に收容されたとはいへそこも十分な醫療設備は備へてゐなかつたのでせう。あの方はどんなにお苦しみになつたか、と思ふと此の胸は、はりさけるばかりです。この知らせを齎らしてくれた同期の方が『こゝで死んでは犬死だ。がんばれ。きつとよくなる』と最後迄あの方の傍にゐてくれたそうです。同期の方もこの知らせを告げようか告げまいかと大分お考へになつたとの事ですが實際を知らせて頂いた方が十分救はれた氣持になる事が出來たのです。私は豫期しない場所で豫期しない人から豫期して來た事を告げられて驚きと悲しみに滿されてゐます。覺悟はして居りましたと口では強く言つたものゝ二度と還らぬあの方の事を想へば誰が、一体誰が私からあの方を引きはなしたのかと訴へたくなります。

父母（2）
西村哲純

父母の生涯は子のためのものである、然も父母は自らの生命を子等に捧げ乍ら、子の爲めに、と云ふ思ひさへ抱かない、此心の根は最も淸き深き美しき人の心である、此の神佛にも似通ふ至つて澁き至つて切なる想念と努力とによつて、私は今此所に在る事が許されてゐるのである父の想は高くして深い、母の想は淸くして温い、慈しみは父の德であり、悲しみは母の德である、慈と悲との德の故に、又その德に於て私は生かされてゐる生きる私ではなくして生かされてゐる私なのである、父の德は天のやうに光によつて私を養ひ母の德は地の嶽に潤ひをもつて私を育てる、天と地との德に抱かれて伸びる若草のやうにすくすくとのびる私である、此の私は理窟や想念を超えて、一切の幸ひである、

父母の最も深い願ひは子等の健やかに正しく生ひたつ事の外にない、其の事の爲めに、父母は自らの生涯を子等に捧げる、わけても母は子等によつてのみ生きるのである、母の生命の根は母自身にあると言ふよりは、むしろ子等にあるといひ得るであらう、したがつて父母の喜びは子等の健やかなる生育そのことにのみあるのである。

貧しさの中にあつて私を育て下さつた母の姿を思ふとき私は胸にこみ上げるものを感じ、眼頭が熱くなる。母の生活は來る日も來る日も味氣ない單純な繰返しに過ぎない。

痺れる雪の朝も、蒸しかへる眞夏の夜も幾十年の母の生涯は唯一日の如く佗しき日暮しである星を頂いでは家族の誰よりも早く起き、朝餉の仕度をどゝのへ床を上げ、幼兒を背負うては、野良に出で身を碎いて働き、着物を縫ひ、夜なべをし默々とただ働きとほす、子等の食べ殘した御飯を集め、眞黑に汚れた釜にこぼれた御飯粒を拾ひ、犬のやうに猫のやうに、いやな顏一つせず、默々と生きてゆく母の姿は、此の世の最も氣高い姿である。

かうして我が身を忘れ果て上げた子からはたとへ馬鹿な母と呼ばれても、默つて笑つてゐる母は悲しさを超えて悲しき存在である、子等のために悩み子等の爲めに思ひ、子等のために礎となり子等のために生涯を捧げ切つて死んでゆく、何んらのつぐなひも報ひも求めず樂しみも喜びも捨て果てゝ、ひたすらに子等をのみ祈りつゝ生涯を終る母の德は何ものにもたとへがたき尊き光である。　終り

いわき俳壇

土
鈴木紅果

螢火やま暗き小徑情深し
螢籠提げくらがりの子どもたち
舞上る螢里人愛そよき
ほそ〴〵と光る螢や畦の角
田草取暑に負け畦に話しをり
かはほりを窓越し姉と琴を彈く
土に向き先づ咲く茄子に兩刻む
佃ふところひろくとり置き胡瓜蒔く
土に向き俳諧の茄子花ひらく
こゝかして地虫が歩く胡瓜蒔く
胡瓜蒔く土香が立つて上天氣

藥のことなら……
キクので評判………
ダルマ藥局
小名濱町　電222番

出タ！待望のネズミ取リ
アラユル病菌ヲ媒介スル鼠ヲ鏖セ
實用新案出願中
瀧澤工業社製品 捕鼠器 15・00
發賣元 雜貨・文房具 金物百般 卸問屋
平市六丁目大通り さかいや商店

セメント瓦
製造注文に應じます
五馬力粉碎混合機あり
古いカタマリセメント
御持下さい交換致します
大浦村上井仁田
（四倉驛ヨリ約七丁）
合名會社 大谷建材店 四倉工場
大谷文夫
御注文ノ際ハ御一報下サイ
係員參上シマス